



例年のように、子供太鼓が開会式をよりいっそう盛り上げてくれます。

「道を絆に商いと文化を紡ぐ」竹内街道・横大路開通1400年記念をテーマに5月18・19日の両日にメインイベントが開催され大いに盛り上がりました。



いまいは
今

vol.156

発行 今井町並み保存会
 発行日 平成25年6月1日
 電話 0744-22-1128
<http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>
 e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp

◇ご意見・ご感想は
 今井まちづくりセンターまで



「町かどアート」ではテルミンの演奏をしている人がいました。なんと、今井小学校の卒業生だそうです。

第18回今井町並み散歩特集号



北尊坊通には鹿肉コロッケのほかにも、草餅や鮎の塩焼きといった吉野地方の名産品を売る店が軒を連ねていました。(裏面記事もご参照ください)



「綿繰り実演」にも多数の方が参加されていました。



昨年は4月に開催された「今井町町並みコンサート」も「町かどアート」の一環として、11日に開催されました。

今年の特徴は、稱念寺の大修復工事による、六斎市開催場所の縮小です。減少した分を補うため、自治会などの協力を賜り、「北尊坊通」に「町衆市」を拡張しました。

ここでは下北山村、上北山村、そして川上村などから地元の魅力ある土産を販売して頂きましたが、これにより面の拡がりが出たこととはかえってよかったです。珍しい食材を焼く匂いが漂い、良い雰囲気醸し出されていきました。

このように順明寺の境内をお借りして開催している「町衆市」も充実してきました。テーマの通り、今井町の製品、つながりのある堺から、また人のネットワークによる桜井、野迫川そして吉野、遠くは愛知県からそれぞれ特色のある名品、名物を皆さんに満喫していただけたことうれしく感じています。奈良から初めてお越しいただいた伝統工芸の体験コーナーでは真剣に製作され、出来あがったものを友達同士で褒め合ったりして喜んでおられる姿はほのほのとして心を紡ぐそのものだと思いうれしい気持ちにして



今年で3回目となるそば作り、実に手際よく麺を打っておられました。

もらえました。また、堺から協力いただいている「手打ちそば」と「刃物の砥師」は毎年心待ちにしておられる方もいらっしやるようになりました。

また、11日から始まった「町かどアート」をはじめとするさまざまな催しにも多数の方がお見えになりました。

まず、例年堺から今井町へと入られるNPO法人「快適な住まいを考える会」の方々が、竹内街道・横大路を2日間歩いて、12日に到着されました。訊けば、今井宗久ゆかりの地（臨江寺や黄梅庵）を巡って来られたとのことでした。



今井へ到着された瞬間です。

この日は着物で町内を散策する「着物で散歩」というイベントも開催されていきました。また、町並み散歩のイベントとして定着した感のある「町かどアート」には今年もさまざまなジャンルの作品が展示されていました。いくつか目にしたものを紹介します。



特撮ヒーローを彷彿とさせる作品です。



今井蘇武橋公園のたんじり展示・子供太鼓実演も「町かどアート」の一つです。午後の部が雨天のため中止になったのは残念でした。

えも言われぬこの空間をこれからも多くの皆様により知っていただけるように知恵を絞ってまいります。最終日午後から雨が降り、大変な思いをされた方もあったことですが、来年に向かって歩みを進めてまいりますので、お力添え賜りますようお願い致します。町がみんなの笑顔であふれる「町並み散歩」にしていきましょう。

編集後記

今井町並み散歩の始まる前からうれしいニュースにふれました。八木駅南の観光ナビプラザで「今井町の町並みパネル」が展示されていました。うれしくなり、おもしろ見学に行ってきました。さらに、東京でも奈良県の観光情報発信施設「奈良まほろば館」で、5月9日から今井町のことを紹介していただきました。また、今年もNHKをはじめマスコミなどいろいろな所から取り上げてもらえたのはありがたいですね。